

- 問1 安土桃山時代に確立された、豪華さよりも簡素な美を重んじる茶の湯の形式と、それを大成させた人物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. わび茶 — 千利休
  2. わび茶 — 世阿弥
  3. 書院造 — 千利休
  4. 能楽 — 千利休
- 問2 宗教改革の結果、カトリック教会から分離して成立した、ルターやカルバンの教えを支持する新しいキリスト教の諸派を総称して何といいますか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 正教会
  2. イエズス会
  3. ピューリタン
  4. プロテスタント
- 問3 織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代の文化において、城郭の内部を飾る「障壁画」が金箔を多用し、豪華で力強い表現となった背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 仏教の教えに基づき、死後の世界である極楽浄土を再現しようとしたため
  2. 大名が自らの絶大な権力や富を、訪れる者に対して誇示しようとしたため
  3. 公家たちが政治の主導権を握り、伝統的な平安時代の様式を復興させたため
  4. 海外との交流が制限されたことで、日本独自の質素な美しさを追求したため
- 問4 15世紀にポルトガルやスペインが新航路の開拓を急いだ背景には、当時の国際情勢が深く関わっています。その背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. イギリスで発生した産業革命による大気汚染を避けるため、王族や貴族が移住先として新大陸を求めた。
  2. モンゴル帝国の衰退により、それまで安全だったシルクロードを通じた陸上貿易が完全に途絶えた。
  3. ルネサンスの影響で科学的根拠のない地球球体説が否定され、地平線の先を確認しようとする探検家が増えた。
  4. オスマン帝国が地中海東部の交易ルートを支配したため、アジアの産物を手に入れるための別ルートが必要になった。
- 問5 日本の土地制度の歴史において、奈良時代の「墾田永年私財法」による私有化の容認や、安土桃山時代の「太閤検地」による耕作権の確立に共通する目的や性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 土地に対する農民などの権利や所有関係を明確にし、生産意欲を高めたり税を確実に徴収したりすること
  2. 年貢の負担をなくすことで、農民が自由に他の地域へ移動できるようにすること
  3. すべての土地を国の所有に戻し、農民が土地を自由に売買することを厳しく制限すること
  4. 武士が農村に住むことを奨励し、土地の管理をすべて現地の武士に任せること
- 問6 桃山文化を代表する画家である狩野永徳が、城のふすまや屏風に金箔をふんだんに使った、豪華で華やかな絵を描いた背景として最も適切なものはどれか、次の説明から選びなさい。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 遣唐使が廃止されたことで、日本の風景を繊細に描く大和絵の技法が再び注目されたため
  2. 天下統一を進める戦国大名が、自らの強大な富や権力を周囲に誇示しようとしたため
  3. 禅宗の影響を強く受け、質素で控えめな美しさを追求する文化が武士の間で広まったため
  4. 町人の経済力が向上し、手軽に持ち運びができる安価な美術品が求められるようになったため
- 問7 太閤検地では、全国でバラバラだった「升（ます）」などの単位が統一され、田畑の面積や質を調査して収穫量を「石高」という単位で表す仕組みが整えられました。この「石高」を基準とした制度の目的として適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 海外貿易による利益を土地の価値に反映させ、輸出額に応じた関税を徴収する仕組みを作ること。
  2. 土地の生産力を客観的に把握し、それに基づいて年貢の額や、大名・武士に課す軍役の負担量を明確にすること。
  3. すべての農民に平等に土地を分け与え、貧富の差をなくして自給自足の生活を保障すること。
  4. 貨幣経済を促進するため、年貢を米ではなくすべて金銭で納めさせる基準を設けること。
- 問8 太閤検地がそれまでの土地制度（荘園制）と大きく異なる点について、農民との関わりから述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保障し、検地によってその私有地をさらに拡大させた。
  2. 土地の売買を完全に自由化し、市場価格に応じた現金を納税させる制度へと移行した。
  3. 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。
  4. 家族の人数や性別に応じて土地を割り当て、6年ごとに調査を行う仕組みを全国に広めた。
- 問9 戦国時代の有力な大名たちが、キリスト教の布教を許可してまで「南蛮人」と呼ばれたヨーロッパの人々との交流を推進した背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 日本独自の文化を広めるために、ヨーロッパを日本文化の輸出先とするため
  2. 鉄砲や火薬の原料となる硝石を輸入し、軍事を強化するため
  3. 明から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を安定させるため
  4. 仏教勢力を抑えるために、ヨーロッパの新しい思想を国教とするため
- 問10 16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が拡大しました。これに対して、カトリック教会側が勢力の立て直しを目指して組織した修道会と、その活動の背景について述べたものとして最も適切な説明はどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 宗教改革の影響でカトリックの信者が減少したため、修道会が貿易を独占することで教会運営の資金を確保しようとした。
  2. カトリック教会の改革と勢力回復を目的としてイエズス会が組織され、アジアなど海外への布教活動が積極的に行われた。
  3. ローマ教皇の権威を否定する新たな動きとしてイエズス会が結成され、鉄砲の輸出と引き換えにキリスト教を広めることを条件とした。
  4. プロテスタントの拡大を阻止するため、ドイツの諸侯が中心となってイエズス会を組織し、武力によるカトリックの再建を図った。
- 問11 16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革が起こり、新しい教派であるプロテスタントが勢力を広げました。この動きに直面したカトリック教会が、自らの組織を立て直し、教勢を回復するために取った行動として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 産業革命の進展に合わせて、東インド会社と協力しながらアジアでの植民地支配を強化することに専念した。
  2. ルネサンスの人間中心の考え方を取り入れ、キリスト教の布教を中止して科学技術の振興に力を入れた。
  3. プロテスタントの勢力拡大に対抗し、イエズス会などの修道会を通じて海外での布教を積極的に推進した。
  4. 十字軍の遠征が失敗したため、教皇の権威を放棄し、各国の国王が教会を直接支配する制度へと移行した。
- 問12 ルターがローマ教皇を批判する直接のきっかけとなった、当時の教会がサン・ピエトロ大聖堂の改築資金を集めるために、「購入すれば罪が許される」という理屈で人々に販売したものは何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 聖書
  2. 免罪符
  3. 活版印刷機
  4. ルネサンス